

2015 年度第 3 四半期 決算報告書

参考和訳

プレスリリース
2015 年 10 月 30 日、パリ発



全ての事業部門で増収を達成

事業部門の営業収益：前年同期比 **+5.8%**

四半期純利益が増加

株主帰属純利益：18 億 2600 万ユーロ
前年同期比 **+14.5%**

エクイティ **TIER1** 比率およびレバレッジ比率*はさらに上昇

エクイティ **TIER1** 比率：10.7% (2015 年 6 月末比 +10bp)
レバレッジ比率：3.8% (2015 年 6 月末比 +10bp)



高い利益成長

着実な自己資本の積上げ

* 2015 年 9 月末現在、バーゼル 3 基準全面適用の比率



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world

2015年10月29日にBNPパリバ取締役会が開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2015年度第3四半期の業績が検討されました。

高い利益成長および着実な自己資本の積上げ

欧州景気が穏やかに回復するなか、BNPパリバは当四半期に全体的に好業績を収めました。

営業収益は当四半期に103億4500万ユーロに上り、前年同期比8.5%の増収となりました。当四半期の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額（Own Credit Adjustment : OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（Debt Value Adjustment : DVA）による影響として、+3700万ユーロに上る一時項目が含まれていました（対して、前年同期は-1億9700万ユーロ）。

当四半期に、全ての事業部門で前年同期と比べて増収を達成しました。すなわち、国内市場部門¹では前年同期比0.8%増加し、国際金融サービス部門では11.6%増加し、またホールセールバンキング事業（CIB）では4.2%の増収となりました。また、当四半期の営業収益には2014年度に実施した買収による好影響が反映されており、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、事業部門の営業収益は当四半期に前年同期比1.7%の増収となりました。

営業費用は当四半期に69億5700万ユーロに上り、前年同期と比べて7.3%増加しました。当四半期の営業費用には、一時要因として、Simple & Efficient計画に関わる変革費用に加え、2014年度の買収に関わる事業再編費用からの影響が合計で1億6000万ユーロ含まれていました（前年同期の一時費用は1億5400万ユーロ）。

事業部門合計の営業費用は前年同期比7.3%増加しました。部門別では、国内市場部門¹で2.4%増加し、国際金融サービス部門で12.4%増加し、またCIBでは8.3%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、事業部門合計の営業費用は前年同期比2.2%増加しました。これにはとりわけ、新規制の実施やコンプライアンス体制の強化に関わる投資が影響していました。

当四半期の営業総利益は、前年同期と比べて10.9%増加して33億8800万ユーロに上りました。事業部門合計では、前年同期比3.2%の増加でした。

グループのリスク費用は当四半期も穏やかな水準に留まり、8億8200万ユーロとなりました（融資残高の50bpに相当）。なお前年同期には、2014年度に実施された買収に関わる連結範囲変更の影響²に加え、CIBでは前年同期のリスク費用が相殺後で貸倒引当金戻入益³となったことから、当四半期の比較基準としては有意性が限定されます。

営業外損益は当四半期に1億6300万ユーロの利益となりました（前年同期は1億4900万ユーロの利益）。

以上から、当四半期の税引前利益は26億6900万ユーロに上り、これに対して前年同期は24億5000万ユーロでした。なお事業部門合計では、当四半期の税引前利益は前年同期と比べて0.8%の増益となりました。

これらを受けて、株主帰属純利益は当四半期に18億2600万ユーロに上りました（対して、前年同期は15億9500万ユーロ）。なお一時項目を除くと、株主帰属純利益は前年同期比4.3%の増益となり、グループが当四半期に全体として好業績を収めたことを示しています。

2015年9月末現在、バーゼル3基準全面適用のエクイティTier1比率⁴は10.7%となり、2015年6月末の水準から10bp上昇しました。また、バーゼル3基準全面適用のレバレッジ比率⁵は3.8%に達しました（2015年6月末から+10bp）。さらに、グループの即時利用可能な余剰資金は、2015年9月末現在で3010億ユーロに上っており（2014年12月末現在は2910億ユーロ）、これは短期資金調達との関係で1年以上の余裕資金があることを意味します。

¹ 国内ネットワークのプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

² 連結範囲の変更による影響は2400万ユーロ

³ 2014年度第3四半期にCIBで貸倒引当金戻入益8800万ユーロを計上（うち、コーポレートバンキング部門で6800万ユーロを計上）

⁴ 経過措置なしで全ての資本要求指令4（CRD4）を考慮した比率

⁵ 今後Tier1資本として算入不能になる項目を算入可能な項目に置き換えた算定方法を含め、2014年10月10日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき、経過措置なしで全ての資本要求指令4（CRD4）を考慮した比率

1株当たり純資産額は2015年9月末現在で69.8ユーロに達していました。これは2008年12月末からの年平均成長率が6.5%に上っていたことを意味し、グループの景気サイクルを通じた価値創造能力を表しています。

またグループは、米司法当局との包括的和解の一環として合意された是正計画を積極的に実施するとともに、引き続き内部統制およびコンプライアンス体制の強化を押し進めています。

*
* *

2015年度第3四半期累計期間(1-9月)において、営業収益は324億8900万ユーロに上り、前年同期比12.0%の増収となりました。当第3四半期累計期間の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額(Own Credit Adjustment : OCA)およびデリバティブに関わる債務価値調整額(Debt Value Adjustment : DVA)による影響として、+1億5400万ユーロに上る一時項目が含まれていました。これに対し、前年同期の営業収益には-3億1300万ユーロの一時項目が含まれていました。

事業部門合計の営業収益は、当第3四半期累計期間に前年同期比10.6%の大幅増となり、グループの業績の好調さを証明しました。部門別では、国内市場部門¹で1.9%の増収となり、国際金融サービス部門では17.4%の増収、さらにCIBでは14.7%の増収を果たしました。

営業費用は当第3四半期累計期間に218億4800万ユーロとなり、前年同期と比べて11.2%増加しました。当第3四半期累計期間の営業費用には、一時要因として、Simple & Efficient計画に関わる変革費用に加え、2014年度の買収に関わる事業再編費用からの影響が、合計で5億700万ユーロ含まれていました(前年同期の一時費用は5億300万ユーロ)。当第3四半期累計期間の営業費用にはまた、破綻処理基金への初回拠出金による影響として2億4500万ユーロ²が含まれていました。なお、IFRIC解釈指針第21号「賦課金」の解釈に基づき、2015年度に必要と推定される拠出金の全額を2015年度第1四半期に計上しました。

事業部門合計の営業費用は、当第3四半期累計期間に前年同期比9.8%の増加に留まった結果、0.8ポイントの正のジョーズ効果を生み出しました。部門別では、営業費用は、国内市場部門¹で1.9%増加し、国際金融サービス部門で17.8%増加するとともに、CIBでは11.7%増加しました。

営業総利益は当第3四半期累計期間に13.5%増加し、106億4100万ユーロに上りました。また、事業部門合計では、前年同期比12.0%の増加を果たしました。

グループのリスク費用は、当第3四半期累計期間に前年同期比5.1%増加し28億2900万ユーロとなりましたが、これには2014度実施された買収に関わる連結範囲の変更³が影響しました。かかる影響を除くと、リスク費用は前年同期と比べて1.1%減少しました。

営業外損益は、当第3四半期累計期間に10億9400万ユーロの利益となりました。これにはとりわけ、クレピエールとコリオの合併により生じたキャピタルゲインに加え、合併後のクレピエール=コリオに対する7%の持分を売却したことによる譲渡益が合計で4億8700万ユーロ含まれており、さらに、非戦略的投資先の持分売却により生じた譲渡益9400万ユーロ⁴が大きく貢献しています。これに対し、前年同期の営業外損益は、3億9900万ユーロでした。

なお、グループは2014年度上半期において、米司法当局との包括的和解に関わる費用として、総額59億5000万ユーロを別途計上しました。

¹ 国内ネットワークのプライベート・バンキングの100%を含む(PEL/CELの影響を除く)

² フランスのシステムリスク税減分相殺後の推定値

³ 連結範囲の変更による影響は1億6600万ユーロ

⁴ CIBのコルポレートバンキング部門へ7400万ユーロを配分し、コーポレート・センターへ2000万ユーロを配分



これらを受けて、当第3四半期累計期間の税引前利益は89億600万ユーロとなりました（前年同期は11億3000万ユーロ）。事業部門合計の税引前利益は、前年同期と比べて17.2%の大幅増益となりました。

以上から、当第3四半期累計期間の株主帰属純利益は60億2900万ユーロに上りました（前年同期は-12億2000万ユーロの損失）。なお、一時項目からの影響を除くと、当第3四半期累計期間の株主帰属純利益は+10.5%の大幅増を遂げており、これによりグループの業績が極めて好調であったことを示しています。また、一時項目を排除した自己資本利益率（ROE）は、当第3四半期累計期間に年率換算後で9.6%となりました（なお、有形自己資本利益率は11.7%）。

*
* *

リテールバンキングおよびサービス事業

国内市場部門

欧州では景気が穏やかに回復するなかにあつて、国内市場部門の融資残高は当四半期に前年同期比1.7%増加しました。一方、預金残高は前年同期比7.1%の増加を果たしました。ドイツのDABバンク買収の影響を除くと、預金残高は前年同期比5.1%増加しましたが、とりわけフランスおよびベルギーで高い伸びを示しました。国内市場部門による意欲的な販売およびマーケティング活動の成果は、特にフランス、イタリアおよびベルギーにおいてプライベート・バンキング業務の運用資産残高が引き続き伸びたことに現れています（2014年9月末の水準から4.1%増加）。

さらに、国内市場部門は、当四半期においてもデジタルサービスを拡充し、またカスタマー・エクスペリエンスを変革させる活動を継続しました。その成果として、当四半期に個人顧客向けの新たな証券投資のポータル（Online Invest）を、国内市場部門全体を通して導入するとともに、法人向けフリート管理の最適化を図るために、欧州初の統合テレマティクス・サービスであるArval Active Linkを導入したことが挙げられます。国内市場部門はまた、DABバンクとConsorsbank!の合併手続きの最終段階にあり、これが完了した暁には、ドイツにおいてオンラインブローカーとしてNo.1の、またデジタルバンクとしてNo.3の地位を占める銀行が誕生することになり、その顧客数は150万口に上るでしょう。

当四半期の営業収益¹は39億5900万ユーロに上り、前年同期比0.8%の増収でした。ベルギー国内リテールバンキングおよび専門的金融業務（個人投資家部門、アルバル、およびリーシング・ソリューションズ）が高い伸びを示した一方、長引く低金利環境の影響がこれを一部打ち消す格好となりました。

営業費用¹は当四半期に24億9600万ユーロとなり、前年同期と比べて2.4%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除き、かつ非経常的な引当金繰入額を除くと、専門的金融業務の開発費用の負担にも関わらず、継続的なコスト抑制努力のおかげで、当四半期の営業費用の増加幅は0.8%に留まります。

これらを受けて営業総利益¹は、当四半期に前年同期比1.8%減少し、14億6300万ユーロとなりました。

リスク費用は、とりわけイタリアで低下し、全体として前年同期から減少しました。以上から、プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を国内市場部門からウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、当四半期の税引前利益²は前年同期と比べて4.5%の増益となり、9億7900万ユーロに上りました。よって、国内市場部門が全体的に好業績を収めたことが確認されます。

2015年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益¹は119億9800万ユーロに上り、前年同期と比べて1.9%の増収となりました。ベルギー国内リテールバンキングおよび専門的金融業務（アルバル、個

¹ フランス（PEL/CELの影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの100%を含む

² PEL/CELの影響を除く

人投資家部門、およびリーシング・ソリューションズ)が高い伸びを示した一方、長引く低金利環境の影響がこれを一部打ち消す格好となりました。営業費用¹は 75 億 9500 万ユーロに上り、前年同期比 1.9%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業費用の増加幅は 0.7%に留まります。これには継続的なコスト抑制努力が効果を発揮しており、当第 3 四半期累計期間において 0.3 ポイントの正のジョーズ効果が生み出されました。営業総利益¹は当第 3 四半期累計期間に 44 億 300 万ユーロとなり、前年同期と比べて 2.0%増加しました。リスク費用¹は、BNL バンカ・コメルシアレでの低下が特に寄与し、当第 3 四半期累計期間は前年同期比 14.4%減少の 13 億 4200 万ユーロとなりました。以上から、プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を国内市場部門からウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、当第 3 四半期累計期間の税引前利益²は 28 億 4900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 11.4%の大幅増益を果たしました。

フランス国内リテールバンキング (FRB)

経済環境が穏やかに改善するなかにあつて、フランス国内リテールバンキング (FRB) の融資残高は、当四半期に前年同期から 0.3%増加しました。預金残高は、当座預金の高い伸びが牽引し、前年同期と比べて +4.8%と成長を持続しました。オフバランス貯蓄商品は着実に伸び、特に生命保険残高が 2014 年 9 月末の水準から 3.5%増加しました。FRB による販売およびマーケティング活動の成果は、当四半期に Ambitions Pro 計画がスタートを切ったことに現れています。同計画は、自由業、小規模事業者、職人的芸術家などを対象に、2019 年度までに 150,000 口の新規顧客を獲得することを目標としています。

営業収益³は当四半期に 16 億 6400 万ユーロとなり、前年同期と比べて 3.0%の減収でした。純利息収入は前年同期比 3.9%減少しましたが、これには長引く低金利環境が影響していました（預金のマージン縮小や、ローンの借り換えに伴うマージン縮小など）。手数料収入に関しては、前年同期が高水準であったこともあり、当四半期に 1.7%減少しました。その減少の具体的な要因として、当四半期に銀行手数料が減少した分を、オフバランス貯蓄商品の手数料収入の増加が補うに足りなかったことが挙げられます。このような低金利環境にあつて、FRB は徐々に顧客状況の調整を実施中です。

営業費用³は、当四半期に前年同期比 1.3%増加しました。非経常的な引当金繰入額の影響を除くと、営業費用の増加幅は 0.4%に留まり、確かなコスト管理を反映しています。

これらを受けて、営業総利益³は当四半期に 5 億 1400 万ユーロとなり、前年同期と比べて 11.5%減少しました。

リスク費用³は依然として低水準に留まり、融資残高の 22bp 相当でした。また、前年同期と比べて 600 万ユーロ減少しました。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRB の税引前利益²は当四半期に 3 億 9400 万ユーロとなり、前年同期と比べて -14.5%の減益でした。

2015 年度第 3 四半期累計期間 (1-9 月) において、営業収益³は 50 億 2400 万ユーロとなり、前年同期比 2.4%の減収でした。純利息収入は、長引く低金利環境の影響を受けて 4.4%減少しました。一方、手数料収入は 0.6%増加しました。確かなコスト管理のおかげで、当第 3 四半期累計期間の営業費用³は、前年同期から 0.3%の微増に留まりました。営業総利益³は、当第 3 四半期累計期間に 16 億 7300 万ユーロとなり、前年同期と比べて 7.4%減少しました。リスク費用³は、前年同期から 4100 万ユーロ減少しました。以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRB の税引前利益²は当第 3 四半期累計期間に 12 億 9400 万ユーロとなり、前年同期と比べて -7.7%の減益でした。

¹ フランス (PEL/CEL の影響を除く)、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの 100%を含む

² PEL/CEL の影響を除く

³ フランス国内ネットワークのプライベート・バンキングの 100%を含む (PEL/CEL の影響を除く)

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

経済環境が穏やかに改善するなか、BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc) の融資残高は当四半期に若干の増加を果たしました (前年同期比+0.1%) : 個人向け貸出が増加した一方で、法人顧客および小規模事業者セグメントの上位層に対する選別の見直しによる影響が当四半期に薄らいだことが貢献しました。預金残高は、特に個人客の預金が増えたことから、当四半期に 2.5%増加しました。BNL bc は引き続きオフバランス貯蓄商品の開発を押し進めた結果、2014 年 9 月末の水準から目覚ましい成長を遂げ、生命保険残高は 11.6%増加し、またミューチュアルファンドの残高は 17.1%の伸びを果たしました。さらに、プライベート・バンキングでは当四半期も積極的な営業活動を展開したことから、運用資産残高は 2014 年 9 月末と比べて 9.4%増加しました。

営業収益¹ は、当四半期に前年同期と比べて 4.3%減少し、7 億 5600 万ユーロとなりました。純利息収入は前年同期比 7.4%減少しましたが、これには先述のように上位法人客向け融資の見直しをしたことが影響しており、個人客セグメントの伸びがこれを補うに足りませんでした。手数料収入は、オフバランス貯蓄商品の好調により残高が増加した結果、当四半期に 1.7%増加しました。

営業費用¹ は、引き続きコスト管理が奏功し、増加幅が前年同期比+0.2%に抑えられたことから、当四半期に 4 億 2500 万ユーロとなりました。

これらを受けて、営業総利益¹ は当四半期に 3 億 3100 万ユーロとなり、前年同期と比べて 9.6%減少しました。

当四半期のリスク費用¹ は、融資残高の 159bp 相当で高止まりしましたが、それでも前年同期と比べて 3900 万ユーロ減少しました。その背景には貸出ポートフォリオの質が徐々に改善していることがあり、低クオリティ融資の設定が大幅に減少していることに裏打ちされています。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務 (国際金融サービス部門) へ配分した後、BNL bc の税引前利益は当四半期に 1400 万ユーロとなり、前年同期と比べて 300 万ユーロ増加しました。

2015 年度第 3 四半期累計期間 (1-9 月) において、営業収益¹ は前年同期比 3.0%減少して 23 億 4900 万ユーロとなりました。純利息収入は前年同期比 5.8%減少しましたが、これには上位法人客向け融資の見直しをしたことに加え、低金利環境が影響していました。一方、手数料収入は、オフバランス貯蓄商品が着実に伸びたおかげで、前年同期比 2.8%増加しました。営業費用¹ は、確かなコスト管理を反映し、当第 3 四半期累計期間に前年同期比 0.5%増加して 13 億 1700 万ユーロとなりました。これらを受けて、営業総利益¹ は 10 億 3200 万ユーロとなり、前年同期と比べて 7.0%減少しました。リスク費用¹ は、前年同期から 1 億 2800 万ユーロの若干の減少を果たしました。以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務 (国際金融サービス部門) へ配分した後、BNL bc の税引前利益は当第 3 四半期累計期間に 5400 万ユーロに上り、前年同期と比べて 4200 万ユーロ増加しました。

ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

ベルギー国内リテールバンキング (BRB) は、当四半期も引き続き意欲的な業務展開を押し進めました。融資残高は、個人および法人顧客向け貸出が増えたおかげで、当四半期に前年同期比 4.3%増加しました。一方、預金残高は、当座預金の高い伸びが牽引し前年同期比 3.8%増加しました。BRB はまた、オフバランス貯蓄商品でも極めて好調な業績を収め、ミューチュアルファンドの残高は 2014 年 9 月末の水準から 15.9%増加しました。

営業収益² は前年同期と比べて 4.0%の増収となり、8 億 8000 万ユーロに上りました。純利息収入は、とりわけ融資残高の増加に加えてマージンが底堅く推移したことから、前年同期比 4.5%増加しました。手数料収入は、金融取引に関わる手数料業務が好調であったおかげで、当四半期に 1.7%増加しました。

¹ イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む

² ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む

営業費用¹は、確かなコスト管理が奏功し、前年同期比+0.2%の微増に抑えられたため、当四半期に 5 億 7300 万ユーロとなりました。業務効率改善策が引き続き効果を発揮していることを反映し、当四半期に 3.8 ポイントの正のジョーズ効果が生み出されました。

営業総利益¹は当四半期に 3 億 700 万ユーロに上った結果、前年同期と比べて 12.0%の急増を果たしました。

当四半期のリスク費用¹は、相殺後で 200 万ユーロの貸倒引当金戻入益が計上されました。これにより、前年同期のリスク費用からは、3800 万ユーロの大幅減となりました。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BRB の税引前利益は当四半期に 2 億 8500 万ユーロに上り、前年同期と比べて 25.0%の大幅増益となりました。

2015 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益¹は前年同期比 6.2%の増収となり 26 億 6500 万ユーロに上りました。純利息収入は、融資残高の増加に加えマージンが底堅く推移したことが特に貢献し、前年同期比 4.9%増加しました。手数料収入は、金融取引およびクレジット商品に関わる手数料業務が非常に高い成果を上げたおかげで、前年同期比 9.8%増加しました。営業費用¹は当第 3 四半期累計期間に 18 億 6500 万ユーロとなり、前年同期と比べて 0.2%の微増に留まりました。その背景には、業務効率改善策が奏功し、6.0 ポイントに上る正のジョーズ効果が生み出されたことがあります。これらを受けて営業総利益¹は 8 億ユーロに達し、前年同期と比べて 23.3%の大幅増となりました。リスク費用¹は、当第 3 四半期累計期間に 3300 万ユーロと極めて低水準に留まり、また前年同期から 7000 万ユーロ減少しました。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BRB の税引前利益は当第 3 四半期累計期間に 6 億 9700 万ユーロとなり、前年同期の水準と比べて+1 億 9400 万ユーロの大幅増益を果たしました。

その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、ルクセンブルク国内リテールバンキング

国内市場部門の専門的金融業務は、当四半期も意欲的に事業展開を押し進めました。アルバルでは、ファイナンス・フリートの車両数が前年同期比+7.5%の急伸を遂げ、761,000 台に上りました。個人投資家部門では、預金残高が前年同期比+70.8%の激増を果たしました。なお、DAB バンクの買収による効果を排除し、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いても、預金残高は前年同期比+23.7%の大幅増となりました。これには新規顧客の獲得が高水準で推移したことに加え、ドイツで Consorsbank! が成功を収めたことが貢献しています。リーシング・ソリューションズでは、コアポートフォリオの残高が順調に伸びた一方で、ノンコア資産の継続的な削減がこれを相殺しました。

ルクセンブルク国内リテールバンキングでは、住宅ローンおよび法人向け貸出の伸びに支えられて、融資残高が前年同期比 3.1%増加しました。預金残高は、法人顧客セグメントで旺盛な資金流入があったことから、当四半期に 6.5%増加しました。

その他国内市場部門の営業収益²は、ドイツの DAB バンク買収による効果を含めると、当四半期に前年同期比 14.6%の増収となり、6 億 5900 万ユーロとなりました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は、アルバル、個人投資家部門、およびリーシング・ソリューションズが牽引し、前年同期比 7.9%の増収を果たしました。

営業費用²は、当四半期に前年同期比 13.7%増加して 3 億 4800 万ユーロとなりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業費用の増加幅は事業開発の進捗に伴うかたちで+4.0%に留まり、全体として 3.9 ポイントの正のジョーズ効果を生み出しました。

当四半期のリスク費用²は、前年同期から 1000 万ユーロ増加して、3400 万ユーロとなりました。

¹ ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む

² ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの 100%を含む



以上から、これら 4 つの業務部門による国内市場部門の税引前利益への貢献は、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、当四半期に 2 億 8600 万ユーロに上り、前年同期と比べて+20.7%の大幅増となりました。

2015 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益¹は、ドイツの DAB バンク買収による効果を含めると、前年同期比 16.0%の増収となり 19 億 6000 万ユーロに上りました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は前年同期比 9.1%の増収でした。これには、全ての部門で営業収益が着実に伸びたことに加え、とりわけアルバルおよび個人投資家部門の増収が寄与していました。営業費用¹は、当第 3 四半期累計期間に前年同期比 13.3%増加して、10 億 6200 万ユーロとなりました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業費用の増加幅は 3.3%に留まり、全体的に正のジョーズ効果を生み出しました。リスク費用¹は、前年同期から 1300 万ユーロ増加して 1 億 600 万ユーロとなりました。以上から、これら 4 つの業務部門による国内市場部門の税引前利益への貢献は、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、当第 3 四半期累計期間に 8 億 400 万ユーロに上り、前年同期と比べて+25.6%の急増を遂げました。

*
* *

国際金融サービス部門

国際金融サービス部門では、以下のように当四半期も事業が継続して発展しました。パーソナル・ファイナンス部門は、成長に向けた意欲的な事業活動を確証しました。欧州・地中海沿岸諸国部門およびバンクウェストは、引き続き積極的な営業活動を展開し、デジタルサービスの開発を継続しました。保険、およびウェルス&アセット・マネジメントでは、全ての業務部門にわたり旺盛な資金流入を享受しました。また、2014 年度に 2 件の買収を実施した後、これらの事業統合はアクションプランに沿って順調に進んでいます。

営業収益は、全ての業務部門で収益が伸びたことから、当四半期に 38 億 1000 万ユーロに上り、前年同期と比べて 11.6%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は前年同期比 5.2%の増収でした。

営業費用は当四半期に 22 億 4900 万ユーロとなり、前年同期と比べて 12.4%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、順調な事業開発に沿うかたちで、営業費用は当四半期に 4.5%増加しました。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に 15 億 6100 万ユーロに上り、前年同期比 10.5%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+6.3%）。

リスク費用は当四半期に 4 億 1600 万ユーロとなり、前年同期の低い水準と比べて 18.2%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+14.1%）。

以上から、国際金融サービス部門の税引前利益は当四半期に 12 億 7300 万ユーロに上り、前年同期比 9.5%の増益となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.5%）。

2015 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益は、全ての業務部門で伸びたことから 114 億 1900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 17.4%の増収を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.1%）。営業費用は 69 億 1900 万ユーロとなり、前年同期から 17.8%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、事業開発の進捗に沿うかたちで、営業費用は 4.6%増加しました。営業総利益は当第 3 四半期累計期間に 45 億ユーロに上り、前年同期と比べて 16.7%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.7%）。リスク費用は 13 億 1100 万ユーロで前年同期比 22.4%増加しましたが、連結範囲の変更および為替レート変動による影響

¹ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの 100%を含む



を除くと 7.6%の増加でした。以上から、国際金融サービス部門の税引前利益は、当第 3 四半期累計期間に 35 億 5800 万ユーロに上り、前年同期から 15.3%の大幅増益を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+6.7%）。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスは、当四半期も引き続き成長に向けた事業活動を意欲的に押し進めました。自動車ローン業務では、メキシコで起亜自動車と、ポーランドで三菱自動車と、またフランスでボルボと提携するなど、新たなパートナーシップ契約を締結しました。また、パーソナル・ファイナンスと LaSer の合併が 2015 年 9 月 1 日付けで実現しました。両者が有するサービスやノウハウの蓄積は補完関係にあることを活用し、合併後の新組織は、今後 3 年間にわたりフランスの専門的金融分野で、ローン組成の市場シェアを 1%拡大していくことを目標としています。

パーソナル・ファイナンスの融資残高は、特に LaSer 買収による効果を受け、当四半期に前年同期比 10.2%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと¹、融資残高はユーロ圏における借入需要の回復を反映し、前年同期比 5.5%増加しました。

営業収益は当四半期に前年同期比 9.7%の増収となり、11 億 9500 万ユーロに上りました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと¹、営業収益は、ドイツ、ベルギー、スペインおよびイタリアが特に伸びたことから、前年同期比 5.8%の増収でした。

当四半期の営業費用は前年同期と比べて 10.4%増加し、5 億 5300 万ユーロとなりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと¹、営業費用は、事業開発の進捗に沿うかたちで前年同期比 3.9%増加しました。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に 6 億 4200 万ユーロに上り、前年同期から 9.2%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+7.4%¹）。

当四半期のリスク費用は、前年同期から 1100 万ユーロ増加して 2 億 8700 万ユーロとなりました（融資残高の 200bp 相当）。なお、LaSer の影響を除くと、リスク費用は前年同期の水準から安定推移しました。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当四半期に 3 億 7700 万ユーロに上り、前年同期から 11.2%の急増を遂げました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+17.6%¹）。

2015 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益は前年同期比 20.7%の増収となり、35 億 6000 万ユーロに上りました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと²、営業収益は、とりわけドイツ、イタリアおよびスペインが牽引し、前年同期比 2.9%の増収でした。営業費用は前年同期から 23.6%増加して 17 億 1500 万ユーロとなりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと²、営業費用は、事業開発の進捗に沿うかたちで前年同期比 2.5%増加しました。リスク費用は、当第 3 四半期累計期間に前年同期から 6400 万ユーロ増加して、8 億 6700 万ユーロに上りました。なお LaSer の影響を除くと、リスク費用は前年同期から 3500 万ユーロ減少しました。以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当第 3 四半期累計期間に 10 億 3200 万ユーロに上り、前年同期と比べて 24.6%の大幅増益を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+18.4%²）。

¹ LaSer を 2014 年度第 3 四半期財務諸表において、試算ベースで完全子会社として処理

² LaSer を 2014 年度第 3 四半期累計期間財務諸表において、試算ベースで完全子会社として処理



欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門の融資残高は、全ての地域で伸びを示したことから、当四半期に前年同期比 13.1%¹ 増加しました。一方、預金残高は、特にトルコおよびポーランドでの伸びが貢献し、前年同期と比べて 12.0%¹ 増加しました。欧州・地中海沿岸諸国部門は引き続きデジタルバンキングの開発に力を入れた結果、既にトルコでは **Cepteteb** の顧客数が 127,000 口に上り、またポーランドでは **Optima** の顧客数が 134,000 口を数えています。

営業収益² は、当四半期の事業環境が若干悪化したなかでも 6 億 1100 万ユーロに上り、前年同期と比べて 4.0%¹ の増収を果たしました。

営業費用² は 4 億 400 万ユーロとなり、前年同期比 6.0%¹ 増加しました。なお、非戦略的事業体の事業再編費用に関わる一時的影響を除くと、当四半期の営業費用の増加幅は 4.0%¹ になります。

リスク費用² は穏やかな水準に留まり、1 億 1100 万ユーロで、融資残高の 112bp 相当となりました。当四半期のリスク費用は、低水準であった前年同期と比べると 4500 万ユーロ増加しました。なお、Bank BGZ（食糧経済銀行）買収に関わる連結範囲の変更による影響（1200 万ユーロ）を除くと、当四半期のリスク費用は前年同期から 3300 万ユーロ増加しました。

以上から、トルコのプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に 1 億 3800 万ユーロとなり、前年同期比 -23.5%¹ の減益でした。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合、前年同期と比べて -9.2% の減益となりました。

2015 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益² は、取引の増加に支えられて 18 億 6900 万ユーロに上り、前年同期比 11.4%¹ の増収となりました。営業費用² は、主にトルコで営業体制の強化を図ったことが影響して、当第 3 四半期累計期間に 12 億 6800 万ユーロとなり、前年同期比 5.5%¹ 増加しました。リスク費用² は 3 億 7000 万ユーロとなり、前年同期の穏やかな水準から 1 億 4900 万ユーロ増加しました。営業外損益は、関連会社から高い貢献を受け、なかでもアジアの関連会社が極めて好調でしたが、当第 3 四半期累計期間に 1 億 2700 万ユーロの利益となり、前年同期と比べて 28.0%¹ の大幅増となりました。以上から、トルコのプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は、当第 3 四半期累計期間に 3 億 5500 万ユーロとなりました。前年同期との比較では、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比 0.7% の減益となった一方、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合、19.5% の増益となりました。

バンクウエスト

バンクウエストは、米国の良好な経済環境を背景に力強い事業展開を押し進めました。融資残高は、法人向けおよび消費者ローンが引き続き伸びたことから、当四半期に前年同期比 6.5%¹ 増加しました。預金残高は、当座預金および普通預金の高い伸びが牽引し、前年同期比 5.9%¹ 増加しました。バンクウエストは引き続きプライベート・バンキング業務の開発を押し進めた結果、2015 年 9 月末の運用資産残高は 98 億米ドルに上り、2014 年 9 月末の水準と比べて 19% の増加を果たしました。またバンクウエストは、デジタルサービスの開発でも躍進を遂げました。例えば、複数のオンラインサービスへアクセスを提供する画期的なアプリである **Quick Balance** は、これを利用した接続が月間 515,000 回に上っています。

営業収益³ は、依然として低金利環境が続くなかでも、取引の増加に支えられて当四半期に 7 億ユーロに上り、前年同期比 3.6%¹ の増収となりました。

営業費用³ は、主に規制コストの上昇が響いて、当四半期に 4 億 6400 万ユーロとなり、前年同期と比べて 10.9%¹ 増加しました（特に、包括的資本分析およびレビュー（Comprehensive Capital Analysis and Review: CCAR）、および中間持ち株会社（Intermediate Holding Company）の設立に関わる費用）。かか

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² トルコのプライベート・バンキングの 100% を含む

³ 米国プライベート・バンキングの 100% を含む



る影響を除くと、営業費用の増加幅は $5.1\%^2$ になりました。その主な要因として、営業体制の強化（プライベート・バンキングおよび消費者金融業務）が負担となった一方で、支店網および組織の合理化による経費節減効果がこれを一部軽減したことが挙げられます。

当四半期のリスク費用¹は、2000万ユーロで依然として極めて低水準に留まり、融資残高の14bp相当でした（前年同期から+1400万ユーロ増加）。

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、バンクウェストの税引前利益は当四半期に2億3800万ユーロとなりました。為替レート変動による影響を除くと前年同期比10.2%の減益となった一方、為替レート変動による影響を含めた場合、ユーロに対するドル高が進んだことから、前年同期比15.5%の増益となりました。

2015年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益¹は、特に取引の増加に支えられて20億9200万ユーロに上り、前年同期と比べて $6.3\%^2$ の増収となりました。営業費用¹は、とりわけ規制コストの上昇が負担となったことから（包括的資本分析およびレビュー、および中間持ち株会社の設立に関わる費用）、当第3四半期累計期間に14億400万ユーロとなり、前年同期比 $10.5\%^2$ 増加しました。かかる影響を除くと、営業費用の増加幅は $4.6\%^2$ になりました。その主な要因として、営業体制の強化（プライベート・バンキングおよび消費者金融業務）が負担となった一方で、支店網および組織の合理化による経費節減効果がこれを一部軽減したことが挙げられます。リスク費用¹は、当第3四半期累計期間に5500万ユーロと極めて低水準に留まり、前年同期から2200万ユーロ増加しました。以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、バンクウェストの税引前利益は当第3四半期累計期間に6億5500万ユーロに上りました。為替レート変動による影響を除くと前年同期比2.5%の増益となった一方、為替レート変動による影響を含めた場合、ユーロに対するドル高が進んだことから、前年同期比+23.8%の増益となりました。

保険、およびウェルス&アセット・マネジメント

保険、およびウェルス&アセット・マネジメントでは、全ての業務部門で純資金流入が高水準で推移したおかげで、全体的に極めて好調な業績を収めました。当四半期中の純資金流入は66億ユーロに上り、非常に高い水準でしたが、とりわけアセット・マネジメント部門で好調でした。

運用資産残高³は、2014年9月末の水準から+4.2%増加して、当四半期末現在で9190億ユーロとなりました。また、2014年12月末の水準と比べて、主に以下の要因から250億ユーロ増加しました：すなわち、ウェルス・マネジメント部門の国内およびアジア地域で極めて高い資金流入があり、全体で204億ユーロの純流入となりました；アセット・マネジメント部門では、とりわけ分散投資型ファンドが資金を呼び込み、純流入となりました；さらに、保険部門では、フランス、イタリアおよびアジアで高い資金流入がありました。2015年1-9月において、為替相場の影響は+70億ユーロに上った一方で、運用パフォーマンス効果は、第3四半期中の株式相場の下落を受けて-52億ユーロとなりました。

2015年9月末現在、運用資産残高³の内訳は以下のとおりでした：アセット・マネジメントは3720億ユーロ；ウェルス・マネジメントは3160億ユーロ；保険部門は2100億ユーロ；不動産管理部門は210億ユーロ。

保険部門では、事業開発が当四半期も順調に進み、責任準備金は2014年9月末の水準から6.7%増加しました。営業収益は、当四半期に5億7600万ユーロに上り、前年同期比7.1%の増収となりました。その背景には、フランス国内および海外で保障保険が伸びたおかげで、事業の着実な成長をもたらしたことがありました。営業費用は当四半期に2億7900万ユーロとなり、事業開発を反映して6.5%増加しました。当四半期の税引前利益は3億2500万ユーロに上り、前年同期と比べて5.5%の増益となりました。

ウェルス&アセット・マネジメント部門では、営業収益は当四半期に7億4100万ユーロとなり、前年同期と比べて7.9%の増収でした。これには、アセット・マネジメントおよび不動産管理部門が高い伸びを示したことに加え、ウェルス・マネジメントの国内市場が好成績を上げたことが貢献しました。営業費用は当四

¹米国プライベート・バンキングの100%を含む

²連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³分配金を含む



半期に 5 億 5700 万ユーロとなり、前年同期比+2.8%に抑えられたおかげで、全体として 5.1 ポイントに上る正のジョーズ効果が生み出されました。以上より、国内市場部門、トルコおよび米国から、プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメントの税引前利益は当四半期に 1 億 9500 万ユーロとなり、前年同期と比べて 23.4%の大幅増益を果たしました。

2015 年度第 3 四半期累計期間 (1-9 月) において、保険部門の営業収益は、フランス国内および海外における保障保険の成長を受けて、17 億 300 万ユーロに上り、前年同期比 6.2%の増収となりました。営業費用は、事業の成長持続に沿って当四半期に 8 億 5800 万ユーロとなり、前年同期比 7.0%増加しました。業績好調な関連会社からの貢献もあり、保険部門の税引前利益は当第 3 四半期累計期間に 9 億 6500 万ユーロに上り、前年同期比 7.5%の増益となりました。ウェルス&アセット・マネジメント部門の営業収益は、当第 3 四半期累計期間に 22 億 3000 万ユーロに上り、前年同期比 6.2%の増収でした (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.7%)。これにはとりわけ、ウェルス・マネジメント部門の国内市場およびアジア地域で好成績を上げたことに加え、アセット・マネジメントおよび不動産管理部門が伸びたことが貢献しました。営業費用は、とりわけ継続的な事業開発投資が負担となったことから、当第 3 四半期累計期間は 16 億 9900 万ユーロに上り、前年同期比 6.0%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業費用は前年同期比 1.9%の増加となり、コスト管理の確かさが確認されました。ウェルス&アセット・マネジメント部門の税引前利益は、国内市場部門、トルコおよび米国から、プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を配分された後、当第 3 四半期累計期間に 5 億 5100 万ユーロとなり、前年同期と比べて 3.2%の増益でした。

*
* *

ホールセールバンキング事業 (CIB)

ホールセールバンキング事業 (CIB) の営業収益は、市場が活気を欠くなかにもあっても、当四半期に 26 億 2400 万ユーロに上り、前年同期比 4.2%の増収となりました。顧客業務は、選別的なフランチャイズ構築が奏功し当四半期も成長を持続しました。

グローバルマーケット部門は、金融市場の不透明感の高まりに象徴された困難な環境にあっても、当四半期に好業績を収め、営業収益は 13 億 4500 万ユーロに上り、前年同期と比べて 6.7%の増収を果たしました。市場リスクを測定するバリュー・アット・リスク (VaR) は、当四半期に若干上昇しましたが依然として低い水準に留まりました (4300 万ユーロ)。株式およびプライムサービス業務の営業収益は、顧客業務が高水準を維持したおかげで当四半期に 4 億 6500 万ユーロに上り、前年同期比 21.4%の増収となりました。FICC¹ (フィクストインカム・通貨・コモディティ) 業務の営業収益は、当四半期に 8 億 8000 万ユーロに上り、前年同期比+0.2%と若干の増加を果たしました。これには、金利および為替業務には困難な市場環境にも関わらず、クレジット業務が好成績を上げたことが貢献しました。グローバルマーケット部門は、当四半期にユーロ建て全債券で No. 2 につけ、また全国際債券で No. 9 にランクインするなど、債券発行で確固たる地位を確認しました。

証券管理部門の営業収益は、意欲的な業務活動が実を結び、当四半期に 4 億 4700 万ユーロに上り、前年同期比 11.2%の増収となりました (預り資産残高は前年同期比 11.4%増加し、また約定件数は前年同期比 20.2%増加しました)。証券管理部門は当四半期に、UniSuper のマスターカストディアンに任命されました。UniSuper はオーストラリアで第 3 位の規模を誇る年金基金で、その運用資産残高は 500 億豪ドルを上回ります。

コーポレートバンキング部門の営業収益は、当四半期に 8 億 3200 万ユーロとなり、前年同期比 2.8%の減収でした。その主な要因として、過去数四半期にわたりエネルギー&コモディティ業務の縮小を進めてきましたが、現在それがほぼ完了しており、当四半期の営業収益に影響が出たことが挙げられます。かかる影響を除くと、その他の業務部門の営業収益は、メディア・テレコム、航空機ファイナンス、および欧州のアドバイザリー業務が特に好業績を収めたことから (エクイティリンク債の発行で BNP パリバは No. 1 を獲得)、当四半期に若干増加しました (+0.9%)。手数料収入は、当四半期に季節的要因が顕著に影響したため、かなり低水準に留まりました。融資残高は当四半期に 1250 億ユーロに上り、前年同期から 12.9%増加しました。預金残高は、とりわけキャッシュマネジメント業務の発展を受けて、前年同期比+20.5%の高い

¹ Fixed Income, Currencies and Commodities (フィクストインカム・通貨・コモディティ)



成長を維持したことから、当四半期に 940 億ユーロに上りました。なお、キャッシュマネジメント業務では、BNP パリバは当四半期に世界 No. 4 の地位にランクインしました。

CIB の営業費用は当四半期に 19 億 6000 万ユーロとなり、前年同期比 8.3%増加しました。これにはドル高の進行が影響しており、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、増加幅は+1.1%でした。また、米国において、包括的資本分析およびレビュー（Comprehensive Capital Analysis and Review: CCAR）、および中間持ち株会社（Intermediate Holding Company）の設立が要求されたことで、規制コストの上昇も営業費用の増加要因となりました。

CIB のリスク費用は、当四半期に 4000 万ユーロの低水準に留まりました。前年同期の水準からは 1 億 2800 万ユーロ増加しましたが、前年同期にはコーポレートバンキング部門で貸倒引当金繰入額を戻入益が大幅に上回ったことから、比較基準としての有意性は限定的です。

以上から、CIB の税引前利益は当四半期に 6 億 2400 万ユーロとなり、前年同期と比べて 21.7%の減益でした。

2015 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、CIB の営業収益は、以下のように全ての業務部門で増収となった結果、全体では前年同期比 14.7%増加して 90 億 1800 万ユーロに上りました：グローバルマーケット部門の営業収益は前年同期比+15.8%¹の増収となりました（FICC 業務で+12.3%²、株式およびプライムサービス業務で+22.5%）；証券管理部門の営業収益は、積極的な業務開発に支えられて+14.6%の増収となりました；コーポレートバンキング部門の営業収益は、過去数四半期にわたりエネルギーおよびコモディティ業務の縮小を進めたにも関わらず、前年同期比+5.6%の増収を果たしました。地域別に見ると、CIB の営業収益は、欧州で増収となり、北南米では急増し、さらにアジアでは大幅増となりました。CIB の営業費用は、当第 3 四半期累計期間に 62 億 9000 万ユーロに上り、前年同期と比べて 11.7%増加しました。その主な要因として、ドル高の影響（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.1%）や、規制コストの大幅上昇が挙げられます。CIB のリスク費用は、当第 3 四半期累計期間に 1 億 5000 万ユーロの低水準に留まり、一部の部門で貸倒引当金戻入益が計上された前年同期の特に低い水準からは 1 億 300 万ユーロ増加しました。以上から、非戦略的投資先に対する持分の売却により生じた一過性のキャピタルゲイン 7400 万ユーロを計上した後、CIB の税引前利益は当第 3 四半期累計期間に 27 億 5500 万ユーロに上り、前年同期と比べて 25.7%の大幅増益となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+10.5%）。

*
* *

コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は、当四半期に+8900 万ユーロに上り、これに対し前年同期の営業収益は-1 億 5400 万ユーロでした。当四半期の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額（Own Credit Adjustment : OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（Debt Value Adjustment : DVA）による影響として、合計+3700 万ユーロが特に寄与していました（対して、前年同期の影響額は、合計-1 億 9700 万ユーロ）。加えて、BNP パリバ・プリンシパル・インベストメンツによる業務活動が安定的な成長を継続したことから、当四半期に非常に高い貢献がありました。

当四半期の営業費用は 3 億 1800 万ユーロとなり、これに対し前年同期は 2 億 9700 万ユーロでした。当四半期の営業費用には、Simple & Efficient 計画に関わる変革費用として 1 億 2600 万ユーロ（前年同期は 1 億 4800 万ユーロ）に加え、2014 年度に実施した買収に関わる事業再編費用として 3400 万ユーロ（前年同期は 600 万ユーロ）が反映されていました。

リスク費用は当四半期に -500 万ユーロとなり、これに対し前年同期は僅少でした。

営業外損益は当四半期に 2900 万ユーロの利益となり、これに対し前年同期は 4800 万ユーロの利益でした。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益は当四半期に -2 億 500 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は -4 億 200 万ユーロでした。

¹ 2014 年度第 2 四半期に導入された FVA に基づく修正後（修正前は+20.5%）

² 2014 年度第 2 四半期に導入された FVA に基づく修正後（修正前は+19.4%）



2015年度第3四半期累計期間(1-9月)において、コーポレート・センターの営業収益は+4億9900万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は+8800万ユーロでした。当第3四半期累計期間の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額(Own Credit Adjustment : OCA)およびデリバティブに関わる債務価値調整額(Debt Value Adjustment : DVA)による影響として、合計+1億5400万ユーロが含まれていました(対して、前年同期の影響額は合計-4億4800万ユーロ)。これに加えて、BNPパリバ・プリンシパル・インベストメンツからの高い貢献がありました。さらに、2014年第3四半期累計期間の営業収益には、投資有価証券の売却による一過性の譲渡益が+3億100万ユーロ含まれていました。

営業費用は当第3四半期累計期間に12億4100万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は8億7700万ユーロでした。当第3四半期累計期間の営業費用には、とりわけ以下の要因が影響していました：(i) 破綻処理基金への初回拠出金として計上した2億4500万ユーロ¹(なお、IFRIC 解釈指針第21号「賦課金」の解釈に基づき、2015年度に必要と推定される拠出金の全額を2015年度第1四半期に計上)；(ii) Simple & Efficient 計画に関わる変革費用3億9000万ユーロ(前年同期は4億8800万ユーロ)；(iii) 2014年度に実施した買収に関わる事業再編費用1億1700万ユーロ(前年同期は1500万ユーロ)。

当第3四半期累計期間のリスク費用は-2700万ユーロとなりました(前年同期は-1000万ユーロ)。

営業外損益は当第3四半期累計期間に5億4800万ユーロの利益となりましたが、これに対し前年同期は9400万ユーロの利益でした。当第3四半期累計期間の営業外損益にはとりわけ、クレピエールとコリオの合併により生じたキャピタルゲイン+1億2300万ユーロに加え、合併後のクレピエール=コリオに対する持分の一部を売却したことによる譲渡益+3億6400万ユーロが含まれています。さらに、非戦略的投資先に対する持分の売却により生じた譲渡益のうち、コーポレート・センターに配分された2000万ユーロ²も含まれています。

なお、特定のドル資金決済に関わる協議の末、米司法当局との包括的和解を受けて、グループは2014年度第3四半期累計期間に、総額59億5000万ユーロに上る一時費用を計上したことは留意に値します(内訳は、制裁金に充当するために57億5000万ユーロ、および、是正計画に関わる将来の費用に備えて2億ユーロ)。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益は、当第3四半期累計期間に-2億2100万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は-66億5500万ユーロでした。

*
* *

財務構造

グループは盤石なバランスシートを有しています。

バーゼル3基準全面適用のエクイティ Tier 1 比率³は、2015年9月末現在で10.7%に達し、2015年6月末の水準から10bp上昇しました。これには主に、45%の配当性向を前提とした当四半期の純利益が貢献していました。なお、エクイティ Tier 1 比率に対する為替および金利動向からの影響は限定的でした。

バーゼル3基準全面適用のレバレッジ比率⁴は Tier 1 資本⁵全部に基づき算定されますが、同比率は2015年9月末現在で3.8%となり、2015年6月末の水準から10bp上昇しました。これにはとりわけ、当四半期に15億米ドルに上る Tier 1 資本の調達を実施したことに加え、キャピタルマーケット業務においてレバレッジ・エクスポージャーを圧縮したことが寄与しました。

¹ フランスのシステミックリスク税通減分相殺後の推定値

² 9400万ユーロに上るキャピタルゲインのうち、7400万ユーロをCIBのコーポレートバンキング部門へ配分し、残る2000万ユーロはコーポレート・センターへ配分

³ 経過措置なしで全ての資本要求指令4(CRD4)規則を考慮した比率。また、欧州議会・理事会規則 Regulation (EU) No 575/2013 第26条第2項に従う

⁴ 2014年10月10日付けの欧州委員会(EC)委任法令に基づき、経過措置なしで全ての資本要求指令4(CRD4)を考慮した比率

⁵ 今後 Tier 1 資本として算入不能になる項目を、算入可能な項目に置き換えて算定



バーゼル 3 基準全面適用のエクイティ Tier 1 比率およびレバレッジ比率の推移は、グループが内部留保を通して着実に自己資本を積上げていること、および、規制変更に対応してバランスシートを管理する能力を有していることを証明しています。

グループの即時利用可能な余剰資金は、2015 年 9 月末現在で 3010 億ユーロに上りました（対して、2014 年 12 月末現在は 2910 億ユーロ）。これは短期資金調達との関係で 1 年以上の余裕資金があることを意味します。

*
* *

以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は、次のように述べています。

「当四半期純利益が 18 億ユーロに上ったことが示すように、BNP パリバは、2015 年度第 3 四半期に全体として好業績を収めました。

ユーロ圏では景気が穏やかな回復途上にあり、個人をはじめ法人および金融機関のお客様が信頼を寄せてくださるおかげで、当四半期も融資残高は拡大し全ての事業部門で増収を達成することができました。

グループのバランスシートは盤石です。また、バーゼル 3 基準全面適用のエクイティ Tier 1 比率が当四半期に 10.7%へとさらに上昇したことは、グループが着実に自己資本を積上げていることを証明するものです。

当四半期の好業績を可能にした BNP パリバの全従業員の貢献に感謝の意を表します。」

連結損益計算書

	3Q15	3Q14	3Q15 / 3Q14	2Q15	3Q15/ 2Q15	9M15	9M14	9M15 / 9M14
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	10,345	9,538	+8.5%	11,079	-6.6%	32,489	29,018	+12.0%
営業費用および減価償却費	-6,957	-6,483	+7.3%	-7,083	-1.8%	-21,848	-19,644	+11.2%
営業総利益	3,388	3,055	+10.9%	3,996	-15.2%	10,641	9,374	+13.5%
リスク費用	-882	-754	+17.0%	-903	-2.3%	-2,829	-2,693	+5.1%
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	n.s.	0	n.s.	0	-5,950	n.s.
営業利益	2,506	2,301	+8.9%	3,093	-19.0%	7,812	731	n.s.
持分法による投資損益	134	86	+55.8%	164	-18.3%	435	327	+33.0%
その他営業外項目	29	63	-54.0%	428	-93.2%	659	72	n.s.
営業外損益	163	149	+9.4%	592	-72.5%	1,094	399	n.s.
税引前利益	2,669	2,450	+8.9%	3,685	-27.6%	8,906	1,130	n.s.
法人税	-770	-753	+2.3%	-1,035	-25.6%	-2,616	-2,077	+26.0%
少数株主帰属純利益	-73	-102	-28.4%	-95	-23.2%	-261	-273	-4.4%
株主帰属純利益	1,826	1,595	+14.5%	2,555	-28.5%	6,029	-1,220	n.s.
営業収益対コスト比率	67.2%	68.0%	-0.8 pt	63.9%	+3.3 pt	67.2%	67.7%	-0.5 pt

BNP パリバの 2015 年度第 3 四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーション資料に含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



2015年度第3四半期 - コア事業別業績

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門				
(単位:百万ユーロ)						
営業収益	3,822	3,810	2,624	10,256	89	10,345
	対前年同期比	+1.7%	+11.6%	+4.2%	+5.8%	+8.5%
	対前四半期比	-1.4%	-1.8%	-13.9%	-5.1%	-6.6%
営業費用および減価償却費	-2,430	-2,249	-1,960	-6,639	-318	-6,957
	対前年同期比	+2.3%	+12.4%	+8.3%	+7.3%	+7.3%
	対前四半期比	+2.9%	-1.8%	-5.0%	-1.1%	-1.8%
営業総利益	1,392	1,561	664	3,617	-229	3,388
	対前年同期比	+0.7%	+10.5%	-6.5%	+3.2%	+10.9%
	対前四半期比	-8.2%	-1.8%	-32.5%	-11.6%	-15.2%
リスク費用	-421	-416	-40	-877	-5	-882
	対前年同期比	-14.3%	+18.2%	n.s.	+16.2%	+17.0%
	対前四半期比	-2.5%	-3.9%	n.s.	-0.2%	-2.3%
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	0	0	0
	対前年同期比	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
	対前四半期比	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
営業利益	971	1,145	624	2,740	-234	2,506
	対前年同期比	+8.9%	+7.9%	-21.8%	-0.4%	+8.9%
	対前四半期比	-10.4%	-1.0%	-35.7%	-14.7%	-19.0%
持分法による投資損益	13	101	2	116	18	134
その他営業外項目	-7	27	-2	18	11	29
税引前利益	977	1,273	624	2,874	-205	2,669
	対前年同期比	+9.5%	+9.5%	-21.7%	+0.8%	+8.9%
	対前四半期比	-10.2%	-1.1%	-37.8%	-14.9%	-27.6%

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計	
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門					
(単位:百万ユーロ)							
営業収益	3,822	3,810	2,624	10,256	89	10,345	
	前年同期	3,759	3,414	2,519	9,692	-154	9,538
	前四半期	3,878	3,880	3,048	10,806	273	11,079
営業費用および減価償却費	-2,430	-2,249	-1,960	-6,639	-318	-6,957	
	前年同期	-2,376	-2,001	-1,809	-6,186	-297	-6,483
	前四半期	-2,362	-2,290	-2,064	-6,716	-367	-7,083
営業総利益	1,392	1,561	664	3,617	-229	3,388	
	前年同期	1,383	1,413	710	3,506	-451	3,055
	前四半期	1,516	1,590	984	4,090	-94	3,996
リスク費用	-421	-416	-40	-877	-5	-882	
	前年同期	-491	-352	88	-755	1	-754
	前四半期	-432	-433	-14	-879	-24	-903
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	0	0	0	
	前年同期	0	0	0	0	0	
	前四半期	0	0	0	0	0	
営業利益	971	1,145	624	2,740	-234	2,506	
	前年同期	892	1,061	798	2,751	-450	2,301
	前四半期	1,084	1,157	970	3,211	-118	3,093
持分法による投資損益	13	101	2	116	18	134	
	前年同期	-3	84	0	81	5	86
	前四半期	8	128	13	149	15	164
その他営業外項目	-7	27	-2	18	11	29	
	前年同期	3	18	-1	20	43	63
	前四半期	-4	2	20	18	410	428
税引前利益	977	1,273	624	2,874	-205	2,669	
	前年同期	892	1,163	797	2,852	-402	2,450
	前四半期	1,088	1,287	1,003	3,378	307	3,685
法人税							-770
少数株主帰属純利益							-73
株主帰属純利益							1,826



2015年1-9月期 - コア事業別業績

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門				
(単位:百万ユーロ)						
営業収益	11,553	11,419	9,018	31,990	499	32,489
	対前年同期比					
	+1.9%	+17.4%	+14.7%	+10.6%	n.s.	+12.0%
営業費用および減価償却費	-7,398	-6,919	-6,290	-20,607	-1,241	-21,848
	対前年同期比					
	+1.8%	+17.8%	+11.7%	+9.8%	+41.5%	+11.2%
営業総利益	4,155	4,500	2,728	11,383	-742	10,641
	対前年同期比					
	+1.9%	+16.7%	+22.3%	+12.0%	-6.0%	+13.5%
リスク費用	-1,341	-1,311	-150	-2,802	-27	-2,829
	対前年同期比					
	-14.3%	+22.4%	n.s.	+4.4%	n.s.	+5.1%
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	0	0	0
	対前年同期比					
	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
営業利益	2,814	3,189	2,578	8,581	-769	7,812
	対前年同期比					
	+12.0%	+14.5%	+18.0%	+14.7%	-88.6%	n.s.
持分法による投資損益	26	335	23	384	51	435
その他営業外項目	-26	34	154	162	497	659
税引前利益	2,814	3,558	2,755	9,127	-221	8,906
	対前年同期比					
	+12.2%	+15.3%	+25.7%	+17.2%	-96.7%	n.s.
法人税						-2,616
少数株主帰属純利益						-261
株主帰属純利益						6,029

連結四半期業績の推移

(単位:百万ユーロ)

	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
グループ							
営業収益	10,345	11,079	11,065	10,150	9,538	9,569	9,911
営業費用および減価償却費	-6,957	-7,083	-7,808	-6,880	-6,483	-6,368	-6,793
営業総利益	3,388	3,996	3,257	3,270	3,055	3,201	3,118
リスク費用	-882	-903	-1,044	-1,012	-754	-855	-1,084
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	-50	0	-5,950	0
営業利益	2,506	3,093	2,213	2,208	2,301	-3,604	2,034
持分法による投資損益	134	164	137	80	86	138	103
その他営業外項目	29	428	202	-268	63	16	-7
税引前利益	2,669	3,685	2,552	2,020	2,450	-3,450	2,130
法人税	-770	-1,035	-811	-566	-753	-671	-653
少数株主帰属純利益	-73	-95	-93	-77	-102	-97	-74
株主帰属純利益	1,826	2,555	1,648	1,377	1,595	-4,218	1,403
営業収益対コスト比率	67.2%	63.9%	70.6%	67.8%	68.0%	66.5%	68.5%



(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
リテールバンキングおよびサービス事業 PEL/CEL の影響を除く							
営業収益	7,634	7,763	7,610	7,476	7,218	6,999	6,903
営業費用および減価償却費	-4,679	-4,652	-4,986	-4,699	-4,377	-4,207	-4,554
営業総利益	2,955	3,111	2,624	2,777	2,841	2,792	2,349
リスク費用	-837	-865	-950	-945	-843	-825	-968
営業利益	2,118	2,246	1,674	1,832	1,998	1,967	1,381
持分法による投資損益	114	136	111	91	81	92	92
その他営業外項目	20	-2	-10	-9	21	10	1
税引前利益	2,252	2,380	1,775	1,914	2,100	2,069	1,474
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	40.4	40.3	39.7	37.9	37.6	37.5	37.6

(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
リテールバンキングおよびサービス事業							
営業収益	7,632	7,758	7,582	7,469	7,173	6,994	6,903
営業費用および減価償却費	-4,679	-4,652	-4,986	-4,699	-4,377	-4,207	-4,554
営業総利益	2,953	3,106	2,596	2,770	2,796	2,787	2,349
リスク費用	-837	-865	-950	-945	-843	-825	-968
営業利益	2,116	2,241	1,646	1,825	1,953	1,962	1,381
持分法による投資損益	114	136	111	91	81	92	92
その他営業外項目	20	-2	-10	-9	21	10	1
税引前利益	2,250	2,375	1,747	1,907	2,055	2,064	1,474
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	40.4	40.3	39.7	37.9	37.6	37.5	37.6

(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CEL の影響を除く							
営業収益	3,959	4,017	4,022	3,930	3,927	3,910	3,932
営業費用および減価償却費	-2,496	-2,426	-2,673	-2,531	-2,437	-2,371	-2,643
営業総利益	1,463	1,591	1,349	1,399	1,490	1,539	1,289
リスク費用	-420	-432	-490	-506	-493	-507	-568
営業利益	1,043	1,159	859	893	997	1,032	721
持分法による投資損益	13	9	5	1	-2	-10	4
その他営業外項目	-7	-4	-15	-22	3	1	0
税引前利益	1,049	1,164	849	872	998	1,023	725
ウェルルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-70	-71	-72	-59	-61	-63	-65
国内市場部門税引前利益	979	1,093	777	813	937	960	660
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	18.6	18.6	18.6	18.5	18.6	18.7	18.8

(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	3,822	3,878	3,853	3,801	3,759	3,780	3,804
営業費用および減価償却費	-2,430	-2,362	-2,606	-2,469	-2,376	-2,310	-2,580
営業総利益	1,392	1,516	1,247	1,332	1,383	1,470	1,224
リスク費用	-421	-432	-488	-505	-491	-506	-568
営業利益	971	1,084	759	827	892	964	656
持分法による投資損益	13	8	5	1	-3	-10	4
その他営業外項目	-7	-4	-15	-22	3	1	0
税引前利益	977	1,088	749	806	892	955	660
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	18.6	18.6	18.6	18.5	18.6	18.7	18.8

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) *							
営業収益	1,662	1,672	1,655	1,651	1,671	1,707	1,720
うち受取利息純額	984	969	943	984	981	1,030	1,006
うち手数料	678	703	712	667	690	677	714
営業費用および減価償却費	-1,150	-1,071	-1,130	-1,169	-1,135	-1,072	-1,135
営業総利益	512	601	525	482	536	635	585
リスク費用	-79	-87	-89	-106	-85	-103	-108
営業利益	433	514	436	376	451	532	477
営業外損益	0	1	1	0	2	0	1
税引前利益	433	515	437	376	453	532	478
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-41	-44	-41	-32	-37	-35	-39
フランス国内リテールバンキング税引前利益	392	471	396	344	416	497	439
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	6.8	6.8	6.8	6.7	6.7	6.7	6.8
(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) * PEL/CELの影響を除く							
営業収益	1,664	1,677	1,683	1,658	1,716	1,712	1,720
うち受取利息純額	986	974	971	991	1,026	1,035	1,006
うち手数料	678	703	712	667	690	677	714
営業費用および減価償却費	-1,150	-1,071	-1,130	-1,169	-1,135	-1,072	-1,135
営業総利益	514	606	553	489	581	640	585
リスク費用	-79	-87	-89	-106	-85	-103	-108
営業利益	435	519	464	383	496	537	477
営業外損益	0	1	1	0	2	0	1
税引前利益	435	520	465	383	498	537	478
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-41	-44	-41	-32	-37	-35	-39
フランス国内リテールバンキング税引前利益	394	476	424	351	461	502	439
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	6.8	6.8	6.8	6.7	6.7	6.7	6.8
(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	1,589	1,597	1,580	1,587	1,604	1,641	1,648
営業費用および減価償却費	-1,118	-1,039	-1,097	-1,137	-1,104	-1,042	-1,102
営業総利益	471	558	483	450	500	599	546
リスク費用	-79	-87	-88	-106	-85	-102	-108
営業利益	392	471	395	344	415	497	438
営業外損益	0	0	1	0	1	0	1
税引前利益	392	471	396	344	416	497	439
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	6.8	6.8	6.8	6.7	6.7	6.7	6.8

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む)*							
営業収益	756	791	802	798	790	813	818
営業費用および減価償却費	-425	-439	-453	-458	-424	-431	-456
営業総利益	331	352	349	340	366	382	362
リスク費用	-309	-318	-321	-322	-348	-364	-364
営業利益	22	34	28	18	18	18	-2
営業外損益	0	0	-1	0	0	0	0
税引前利益	22	34	27	18	18	18	-2
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-8	-11	-10	-7	-7	-8	-7
BNL バンカ・コメルシアーレ税引前利益	14	23	17	11	11	10	-9
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.3	5.3	5.4	5.6	5.7	5.8	5.9

(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	739	772	783	783	774	797	804
営業費用および減価償却費	-417	-431	-444	-450	-416	-423	-449
営業総利益	322	341	339	333	358	374	355
リスク費用	-308	-318	-321	-322	-347	-364	-364
営業利益	14	23	18	11	11	10	-9
営業外損益	0	0	-1	0	0	0	0
税引前利益	14	23	17	11	11	10	-9
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.3	5.3	5.4	5.6	5.7	5.8	5.9

(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ベルギー国内リテールバンキング(ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む)*							
営業収益	880	891	894	875	846	822	842
営業費用および減価償却費	-573	-564	-728	-573	-572	-564	-725
営業総利益	307	327	166	302	274	258	117
リスク費用	2	-2	-33	-28	-36	-15	-52
営業利益	309	325	133	274	238	243	65
持分法による投資損益	3	5	0	3	4	1	1
その他営業外項目	-7	-4	-13	-23	3	1	0
税引前利益	305	326	120	254	245	245	66
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-20	-14	-20	-19	-17	-19	-17
ベルギー国内リテールバンキング税引前利益	285	312	100	235	228	226	49
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	3.7	3.7	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4

(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ベルギー国内リテールバンキング(ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	838	854	850	834	808	782	803
営業費用および減価償却費	-549	-541	-705	-552	-552	-543	-703
営業総利益	289	313	145	282	256	239	100
リスク費用	0	-2	-32	-27	-35	-15	-52
営業利益	289	311	113	255	221	224	48
持分法による投資損益	3	5	0	3	4	1	1
その他営業外項目	-7	-4	-13	-23	3	1	0
税引前利益	285	312	100	235	228	226	49
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	3.7	3.7	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門(ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む)*							
営業収益	659	658	643	599	575	563	552
営業費用および減価償却費	-348	-352	-362	-331	-306	-304	-327
営業総利益	311	306	281	268	269	259	225
リスク費用	-34	-25	-47	-50	-24	-25	-44
営業利益	277	281	234	218	245	234	181
持分法による投資損益	10	3	4	-2	-8	-11	2
その他営業外項目	0	0	-1	1	0	0	0
税引前利益	287	284	237	217	237	223	183
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-1	-2	-1	-1	0	-1	-2
その他国内市場部門税引前利益	286	282	236	216	237	222	181
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7
(単位:百万ユーロ)							
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門(ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	656	655	640	597	573	560	549
営業費用および減価償却費	-346	-351	-360	-330	-304	-302	-326
営業総利益	310	304	280	267	269	258	223
リスク費用	-34	-25	-47	-50	-24	-25	-44
営業利益	276	279	233	217	245	233	179
持分法による投資損益	10	3	4	-2	-8	-11	2
その他営業外項目	0	0	-1	1	0	0	0
税引前利益	286	282	236	216	237	222	181
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
国際金融サービス部門							
営業収益	3,810	3,880	3,729	3,668	3,414	3,214	3,099
営業費用および減価償却費	-2,249	-2,290	-2,380	-2,230	-2,001	-1,897	-1,974
営業総利益	1,561	1,590	1,349	1,438	1,413	1,317	1,125
リスク費用	-416	-433	-462	-440	-352	-319	-400
営業利益	1,145	1,157	887	998	1,061	998	725
持分法による投資損益	101	128	106	90	84	102	88
その他営業外項目	27	2	5	13	18	9	1
税引前利益	1,273	1,287	998	1,101	1,163	1,109	814
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	21.8	21.7	21.1	19.4	19.0	18.9	18.7
(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
パーソナル・ファイナンス							
営業収益	1,195	1,182	1,183	1,154	1,089	933	927
営業費用および減価償却費	-553	-571	-591	-575	-501	-440	-446
営業総利益	642	611	592	579	588	493	481
リスク費用	-287	-289	-291	-292	-276	-249	-278
営業利益	355	322	301	287	312	244	203
持分法による投資損益	22	15	17	35	12	23	13
その他営業外項目	0	2	-2	-5	15	6	0
税引前利益	377	339	316	317	339	273	216
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	3.7	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.3
(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの100%を含む) *							
営業収益	611	658	600	622	543	491	448
営業費用および減価償却費	-404	-410	-454	-424	-350	-344	-349
営業総利益	207	248	146	198	193	147	99
リスク費用	-111	-108	-151	-136	-66	-49	-106
営業利益	96	140	-5	62	127	98	-7
持分法による投資損益	44	42	42	24	24	28	26
その他営業外項目	0	-2	1	2	1	1	0
税引前利益	140	180	38	88	152	127	19
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-2	0	-1	0	0	-1	0
欧州・地中海沿岸諸国税引前利益	138	180	37	88	152	126	19
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	4.4	4.4	4.3	3.7	3.5	3.5	3.5
(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	608	656	598	620	541	489	447
営業費用および減価償却費	-403	-408	-453	-422	-348	-343	-348
営業総利益	205	248	145	198	193	146	99
リスク費用	-111	-108	-151	-136	-66	-49	-106
営業利益	94	140	-6	62	127	97	-7
持分法による投資損益	44	42	42	24	24	28	26
その他営業外項目	0	-2	1	2	1	1	0
税引前利益	138	180	37	88	152	126	19
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	4.4	4.4	4.3	3.7	3.5	3.5	3.5

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
バンクウエスト (米国プライベート・バンキングの100%を含む) *							
営業収益	700	728	664	612	566	537	514
営業費用および減価償却費	-464	-465	-475	-388	-353	-336	-366
営業総利益	236	263	189	224	213	201	148
リスク費用	-20	-16	-19	-17	-6	-16	-11
営業利益	216	247	170	207	207	185	137
持分法による投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他営業外項目	25	1	3	-1	1	1	3
税引前利益	241	248	173	206	208	186	140
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-3	-2	-2	-3	-2	-2	-1
バンクウエスト税引前利益	238	246	171	203	206	184	139
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.2	5.2	4.9	4.3	4.2	4.2	4.2
(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
バンクウエスト (米国プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	690	719	655	604	559	531	508
営業費用および減価償却費	-457	-458	-468	-383	-348	-332	-361
営業総利益	233	261	187	221	211	199	147
リスク費用	-20	-16	-19	-17	-6	-16	-11
営業利益	213	245	168	204	205	183	136
営業外損益	25	1	3	-1	1	1	3
税引前利益	238	246	171	203	206	184	139
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.2	5.2	4.9	4.3	4.2	4.2	4.2
(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
保険							
営業収益	576	557	570	577	538	535	530
営業費用および減価償却費	-279	-274	-305	-279	-262	-253	-287
営業総利益	297	283	265	298	276	282	243
リスク費用	3	-4	0	1	-4	-1	-2
営業利益	300	279	265	299	272	281	241
持分法による投資損益	25	56	39	17	37	33	37
その他営業外項目	0	1	0	0	-1	0	-2
税引前利益	325	336	304	316	308	314	276
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	6.7	6.6	6.6	6.3	6.2	6.2	6.1
(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ウェルス&アセット・マネジメント							
営業収益	741	766	723	713	687	726	687
営業費用および減価償却費	-557	-579	-563	-571	-542	-529	-532
営業総利益	184	187	160	142	145	197	155
リスク費用	-1	-16	-1	4	0	-4	-3
営業利益	183	171	159	146	145	193	152
持分法による投資損益	10	15	8	14	11	18	12
その他営業外項目	2	0	3	17	2	1	0
税引前利益	195	186	170	177	158	212	164
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ホールセールバンキング事業							
営業収益	2,624	3,048	3,346	2,437	2,519	2,636	2,705
営業費用および減価償却費	-1,960	-2,064	-2,266	-1,796	-1,809	-1,821	-1,999
営業総利益	664	984	1,080	641	710	815	706
リスク費用	-40	-14	-96	-29	88	-39	-96
営業利益	624	970	984	612	798	776	610
持分法による投資損益	2	13	8	16	0	25	-4
その他営業外項目	-2	20	136	4	-1	-6	-6
税引前利益	624	1,003	1,128	632	797	795	600
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	17.8	17.7	17.0	16.0	15.8	15.8	16.0
コーポレートバンキング							
(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
営業収益	832	959	920	965	856	924	788
営業費用および減価償却費	-535	-568	-584	-537	-484	-489	-519
営業総利益	297	391	336	428	372	435	269
リスク費用	-51	55	-74	-26	68	-51	-122
営業利益	246	446	262	402	440	384	147
営業外損益	-2	41	132	8	0	18	-12
税引前利益	244	487	394	410	440	402	135
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	8.7	8.6	8.5	7.7	7.6	7.6	7.6
グローバルマーケット							
(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
営業収益	1,345	1,613	1,986	1,084	1,261	1,296	1,546
うちFICC	880	992	1,266	790	878	788	963
うち株式およびプライムサービス	465	621	720	294	383	508	583
営業費用および減価償却費	-1,059	-1,131	-1,333	-913	-998	-1,024	-1,173
営業総利益	286	482	653	171	263	272	373
リスク費用	12	-73	-22	-6	19	11	26
営業利益	298	409	631	165	282	283	399
持分法による投資損益	5	-7	13	9	-1	7	7
その他営業外項目	-3	0	-1	-5	0	-6	-5
税引前利益	300	402	643	169	281	284	401
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	8.5	8.5	8.0	7.7	7.7	7.7	7.9
証券管理							
(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
営業収益	447	476	440	388	402	416	371
営業費用および減価償却費	-366	-365	-349	-346	-327	-308	-307
営業総利益	81	111	91	42	75	108	64
リスク費用	-1	4	0	3	1	1	0
営業利益	80	115	91	45	76	109	64
営業外損益	0	-1	0	8	0	0	0
税引前利益	80	114	91	53	76	109	64
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5



(単位:百万ユーロ)	3Q15	2Q15	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
コーポレート・センター							
営業収益	89	273	137	244	-154	-61	303
営業費用および減価償却費	-318	-367	-556	-385	-297	-340	-240
うち事業再編および変革費用	-160	-217	-130	-254	-154	-207	-142
営業総利益	-229	-94	-419	-141	-451	-401	63
リスク費用	-5	-24	2	-38	1	9	-20
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	-50	0	-5,950	0
営業利益	-234	-118	-417	-229	-450	-6,342	43
持分法による投資損益	18	15	18	-27	5	21	15
その他営業外項目	11	410	76	-263	43	12	-2
税引前利益	-205	307	-323	-519	-402	-6,309	56



連結貸借対照表 — 2015年9月30日現在

(単位：百万ユーロ)	2015年9月30日	2014年12月31日 ⁽¹⁾
資産		
現金および中央銀行預け金	116,607	117,473
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品		
トレーディング目的有価証券	193,915	156,546
貸出金および売戻契約	190,719	165,776
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品	79,779	78,827
デリバティブ金融商品	377,120	412,498
ヘッジ目的デリバティブ	18,615	19,766
売却可能金融資産	263,198	252,292
金融機関貸出金および債権	40,647	43,348
顧客貸出金および債権	676,548	657,403
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	4,952	5,603
満期保有目的金融資産	8,004	8,965
当期および繰延税金資産	7,838	8,628
未収収益およびその他の資産	125,691	110,088
保険契約者余剰金	0	0
持分法投資	7,422	7,371
投資不動産	1,603	1,614
有形固定資産	18,830	18,032
無形固定資産	3,015	2,951
のれん	10,913	10,577
資産合計	2,145,416	2,077,758
負債		
中央銀行預金	7,825	1,680
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品		
トレーディング目的有価証券	99,170	78,912
借入金および買戻契約	227,040	196,733
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品	52,911	57,632
デリバティブ金融商品	369,548	410,250
ヘッジ目的デリバティブ	21,604	22,993
金融機関預金	100,649	90,352
顧客預金	675,143	641,549
負債証券	175,352	187,074
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	4,006	4,765
当期および繰延税金負債	2,970	2,920
未払費用およびその他の負債	102,115	87,722
保険会社の責任準備金	181,214	175,214
偶発債務等引当金	11,367	12,337
劣後債	15,647	13,936
負債合計	2,046,561	1,984,069
連結資本		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	82,604	83,210
株主帰属当期純利益	6,029	157
資本金、払込剰余金、利益剰余金、 および株主帰属当期純利益合計	88,633	83,367
資本に直接認識される資産および負債の変動	6,155	6,091
株主資本	94,788	89,458
少数株主帰属利益剰余金および当期純利益	3,912	4,098
資本に直接認識される資産および負債の変動	155	133
少数株主持分合計	4,067	4,231
連結資本合計	98,855	93,689
負債および資本合計	2,145,416	2,077,758

⁽¹⁾ IFRIC 解釈指針第 21 号に基づき修正再表示済み

高い利益成長および着実な自己資本の積上げ	2
リテールバンキングおよびサービス事業	4
国内市場部門	4
国際金融サービス部門	8
ホールセールバンキング事業 (CIB)	12
コーポレート・センター	13
財務構造	14
連結損益計算書	16
2015 年度第 3 四半期 – コア事業別業績	17
2015 年 1-9 月期 – コア事業別業績	18
連結四半期業績の推移	19
連結貸借対照表 – 2015 年 9 月 30 日現在	28

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2015 年 3 月 24 日に、BNP パリバは 2014 年度の四半期決算に関わる修正を発表しました。かかる修正には、グループの事業部門の新組織体制、および IFRIC 解釈指針第 21 号「賦課金」の適用が特に反映されています。本プレゼンテーションは、適宜、公表済みのあるいは修正された 2014 年度の財務データに基づいています。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。

本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生じる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。